

平成 23 年度 横浜市つたのは学園運営計画

横浜市より運営を引継いで 2 年が経過しましたが、平成 22 年度は、利用者の退所が相次ぎました。病気による死去、入所施設への移行、バリアフリー完備の入所施設をバックに持つ生活介護事業所への移行と理由は様々ですが、今後も家庭基盤が弱い利用者が残っているため、安心できる体制を是非とも作っていきたいと思います。

同時に、新たな利用者の確保が優先課題ですが、そのターゲットを特別支援学校(養護学校)在校生におき、訪問回数を増やし、そのニーズ把握に努めます。また、23 年 1 月より試行している週 1 回のドア to ドア送迎、4 月より開始の日中一時支援事業、基盤整備事業にて改築できた浴室での入浴サービス等をホームページ等でアピールし、変化していることを実感していただくよう心がけます。もちろん、市立施設として障害をお持ちの方の相談機能をもつこと、長津田地区センターとともに、市民利用施設として地域活動の核となることも、引き続き、今年度の大きな運営の柱となります。

1. 具体的な取り組みと重点目標

- ① 利用者数の増加を目指す(年度を通して少なくとも 3 名増を目指す)
- ② 利用率の増加を目指す(前年度比少なくとも 3% 増を目指す)
- ③ 日中体制の見直し
- ④ 地域ニーズの発掘と地域との連携強化
- ⑤ 新規事業の検討

2. 管理面について

- ① 厳しい収支状況のため、効果的な予算執行を目指す。
- ② 第 2・第 4 水曜日の 2 時降園日をなくし、すべて 4 時降園とし、第 1・第 3 土曜の 2 時までの開所の検討を行う。
- ③ 各特別支援学校、福祉保健センターなどとの連携を強化する。
- ④ 市民利用施設としての役割等、独自の運営や支援を展開する。
- ⑤ 建物の改修工事としては壁面の美化、手すり工事、ドア、網戸の改修等を順次行う。
- ⑥ 嘱託医の交代の影響を最小限にとどめ、看護師を中心に、計画的な医療行事の遂行と専門的な医療対応やリハビリテーションの支援を行う。
- ⑦ 給食業務は、法人内の栄養士の協力を得て、新しい委託業者とも連携し、安全で楽しい食事サービスを目指す。
- ⑧ 安全な送迎を心がけ、週に一度でも家族の負担軽減を図り、年度後半に収支の見通しができれば、2 台目の送迎車の確保を目指す。
- ⑨ 日中一時支援事業の安定した運営を目指し、将来の短期入所事業につなげられるよう、課題を整理する。
- ⑩ 将来のケアホーム設立に備え、ケアホームの状況把握に努める。
- ⑪ 班会議、主任会議、支援会議、職員会議などの各種会議の定期的な開催により、利用者の見方、対応などの共通化を図る。また、行事など話し合いを行い利用者の日中活動の活性化を図る。

3. 支援について

- ① 職員は利用者が社会の一員として快適な生活を送るために、居住地域や個人的な活動範囲も視野に入れ、将来を見据え、必要な支援を行なう。
- ② 水曜日の午後を中心に、主任を中心として運営の見直しを進め、日中活動の中に少しずつ目的をもった活動を取り入れ、楽しいだけではなく、利用者各自が自らの力を発揮し活動を展開できるようにして、重大の利用者も念頭に置いたカリキュラムを提供し、支援の独自性と活性化を図る。
- ③ 入浴設備においては、入浴支援、シャワーとしての利用等効果的に使用し、生活介護事業所としての充実を図る。
- ④ Y ネット(横浜ふくしネットワーク) オンブズパーソンの協力を得て、市民の目を通した意見と、利用者の声なき声を拾い上げ、支援に生かす。

4. 家族会、家族について

- ① 日常的な連絡、相談、家族との個別面談、家族会などを通して利用者の全体的な生活の充実を図る。
- ② 利用者がよりよい地域生活が送れるよう事業所とは違う立場で支援していただくよう家族会の強化をお願いしていく。
- ③ 成年後見制度、ケアホーム等利用者の今後にかかわる問題の学習会を企画する。

5. 地域について

- ① 10月に地域交流事業としての「つたのは学園祭り」を、長津田地区センター祭り、長津田小学校と合同で開催。
- ② 利用者の日中活動を安定させるため、生活介護事業所としての役割とともに地域の相談機関としての役割をもち、関係機関や関連団体、地域資源との連絡調整を行う
- ③ 地区センターとの定期協議を通し、一体的な市民利用施設を目指す。
- ④ 災害時の特別避難場所として、マニュアルを見直し、地域の協力を得る。

6. その他

- ① 外部職員研修、内部研修を積極的利用し、職員の専門性向上を図る。
- ② 福祉専門職関連資格(社会福祉士・介護福祉士等)取得推進。
- ③ 広報紙・ホームページを充実し、地域や関連団体に横浜市つたのは学園の理解を深める。